



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 報

第710号

令和4年12月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail: s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL: <https://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 大橋 邦啓

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

令和4年度集合狂犬病予防注射実施者講習会
開催のご案内(再掲) 1
テレビ埼玉で放映予定-高橋会長新春年頭挨拶
(再掲) 2

新入会員報告

新入会員紹介 2

予告

埼玉県獣医師会主催講習会「愛玩動物看護師
国家試験対策」見逃し配信のお知らせ ... 3
埼玉県獣医師会学術講習会(北支部担当
(Web講習会))のお知らせ 4
日本獣医師会小動物臨床講習会(関東地区)
の開催について 5

ひろば

埼玉県獣医師会主催講習会「愛玩動物看護師
国家試験対策」の開催報告 6
埼玉県獣医師会学術講習会
(南支部担当(Web開催))の開催報告 ... 9

お知らせ

埼玉県からのお知らせ 10
日本獣医師会からのお知らせ 10
国内における高病原性鳥インフルエンザの発
生状況 16

埼玉県獣医師会学術広報版 17

事務局より

事務局メモ 17

編集後記 18

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

埼玉県獣医師会 令和4年度 集合狂犬病予防注射実施者講習会開催のご案内（再掲）

公益社団法人埼玉県獣医師会 会 長 高橋 三男

狂犬病予防委員会 委員長 青山 利雄

令和5年度集合狂犬病予防注射の的確な実施に向け、「埼玉県獣医師会集合狂犬病予防注射実施要領及び同細部要領」に基づき、「令和4年度集合狂犬病予防注射実施者講習会」を下記のとおり開催します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、この2年間対面で開催することができず、資料を送付して熟読していただくことで開催に代えておりましたが、今回は大規模な会場を確保することができましたので十分な間隔を確保して開催することとさせていただきます。

令和5年度集合狂犬病予防注射の実施を希望する先生におかれましては受講をお願いします。

- 1 日 時 令和5年1月13日（金）
 受付 午後1時00分～
 開会 午後1時30分
 閉会 午後3時30分
- 2 場 所 レイボックホール 7階 大ホール
 （さいたま市民会館おおみや）
 さいたま市大宮区大門町 2-118
 TEL：048-641-6131
 （JR大宮駅下車 東口から徒歩3分）
 ※前号会報で「8階 大ホール」とお知らせしましたが7階の誤りでした。



- 3 内 容
 - (1) 会長挨拶
 - (2) 講演
 - ① マイクロチップ装着・登録義務化に関連した諸問題
 講師 日本獣医師会 事務局次長 松岡 猛 先生
 - ② インボイス制度について
 講師 浦和税務署 副署長 勝見 成孝 先生
 - ③ 狂犬病の診断と鑑定書・証明書の発行について
 講師 埼玉県獣医師会 事務局
 - (3) 注意事項

- 4 その他
 - (1) 午後1時に受付を開始する予定ですが、会場準備のため受付開始が遅れた場合は申し訳ありませんが大ホール前ロビーにてお待ちください。
 - (2) 会場の駐車場(有料)の収容台数は限られております。ご不便をお掛けしますが、周辺の有料駐車場や公共交通機関のご利用をお願いします。

—— テレビ埼玉で放映予定 ——

高橋会長「彩の国」新春年頭挨拶

とき…令和5年1月2日(月)

午前11時55分～12時00分

テレビ埼玉



新入会員報告

新入会員紹介



ふくしま けんじろう
福島 建次郎
団体支部

勤務部会

支部名	氏 名	勤務先
団体	福島 建次郎	川口市・どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター

予 告

埼玉県獣医師会主催講習会 「愛玩動物看護師 国家試験対策」見逃し配信のお知らせ

公益社団法人埼玉県獣医師会 会 長 高橋 三男
学術委員会 委員長 高橋 一成
情報検討委員会 委員長 宗像俊太郎

令和4年11月23日(水・祝)にZoomミーティングにより実施した埼玉県獣医師会主催講習会「愛玩動物看護師 国家試験対策」は多くの方に視聴していただきました。(当会報6頁参照)

当初見逃し配信の予定はありませんでしたが、視聴した方から見逃し配信の要望が多く寄せられたため、講師の深山俊治先生のご了解を得て下記のとおり配信することとさせていただきました。

前回申込みをしていただいた方にはメールで視聴方法のご案内を差し上げます。(メールが届かない方は事務局までメールでご連絡ください。s-vma@vesta.ocn.ne.jp)

また、新たに視聴を希望する方は下記申込方法により事務局に申込みをしてください。

記

配信方法：YouTubeによる限定配信(約2時間)

配信期間：令和4年12月26日(月)から令和5年2月18日(土)まで

演 題：「愛玩動物看護師 国家試験対策 ～ここだけは押さえておきたい重要ポイント!!～」

講 師：帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 講師 深山 俊治 先生
獣医師、博士(獣医学)

対 象 者：A会員の動物病院のスタッフ(国家試験合格を目指している方、国家試験にチャレンジすることを検討している方)

参 加 費：無 料

申込方法：下記メールアドレスあてにe-mailで申込みをしてください。

(s-vma@vesta.ocn.ne.jp)

メール本文に以下を記入してください。

- ・受講者氏名
- ・所属動物病院名
- ・所属動物病院住所

申込みをしていただいた方には視聴案内のメールをお送りします。

※：11月23日の講習会に申込みをしていただいた方には事務局から案内のメールを送付しますので申込みをする必要はありません。(メールが届かない場合は事務局までメールで連絡してください。)

締 切：令和5年1月31日(火)正午まで。

そ の 他：講習会の録画、録音はご遠慮ください。

申込者への限定配信となりますので、視聴方法の取扱いには十分ご注意ください。

埼玉県獣医師会学術講習会(北支部担当(Web開催))のお知らせ (獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(7) 小3(7))

北支部長 大橋 邦啓
学術委員会委員長 高橋 一成
北支部学術委員 山本 慎也

この度、米国獣医画像診断学専門医の村上正紘先生(米国パデュー大学)に講習をお願いしました。

近年、画像診断分野では超音波診断装置の性能向上や検査技術等のレベルアップにより、腹部疾患の診断に際して超音波検査が優先され、以前ほどレントゲン検査に重きが置かれなくなってきました。しかしながら、レントゲン検査でなければ得られない情報も多く、依然として重要な検査である事に変わりありません。

本講習では腹部レントゲン検査の価値をもう一度見直すというコンセプトのもと、米国獣医画像診断学専門医ならではの論理的な読影のアプローチについてお話していただきます。

この機会に情報をアップデートしていただき、皆様の日々の診療にお役立てください。

日 時：令和5年3月1日(水)
20:00～22:30

演 題：「嘔吐のレントゲン診断」

講 師： 村上 正紘 先生
(米国獣医画像診断学専門医、米国パデュー大学)

参加費：無料

視聴方法：Zoom形式

申込方法：下記URLもしくはQRコードより事前登録をお願いいたします。(2月17日(金)締切)
<https://forms.gle/PrSK3yai9TC9di3s6>



横獣第167号
令和4年12月6日

関東・東京地区獣医師会長 様

公益社団法人横浜市獣医師会
会長 溝呂木 啓之

令和4年度 日本獣医師会小動物臨床講習会(関東地区)の開催について

初冬の候、貴会におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当会では公益社団法人日本獣医師会の委託を受け、小動物臨床講習会(関東地区)を次のとおり開催することとなりました。つきましては、貴会会員の皆様方にご周知とご参加の呼びかけをお願い申し上げます。

- 1 日 時：令和5年2月12日(日) 15:00～19:00
- 2 会 場：神奈川県立かながわ労働プラザ 3階Aホール
神奈川県横浜市中区寿町1-4
(別紙参照)
- 3 演 題：僧帽弁閉鎖不全症 ～診断と治療、外科手術の適応や実際の効果について～
- 4 講 師：JASMINE どうぶつ循環器病センター
センター長 上地 正実 先生
- 5 申 込：令和5年2月10日(金)までに、下記 URL もしくは QR コードより
事前登録をお願い致します。
同一病院でも参加1名毎に、それぞれ送信してください。

<https://forms.gle/VS7DrYmtx2iye4EV6>



別紙 神奈川県立かながわ労働プラザ



埼玉県獣医師会主催講習会 「愛玩動物看護師 国家試験対策」の開催報告

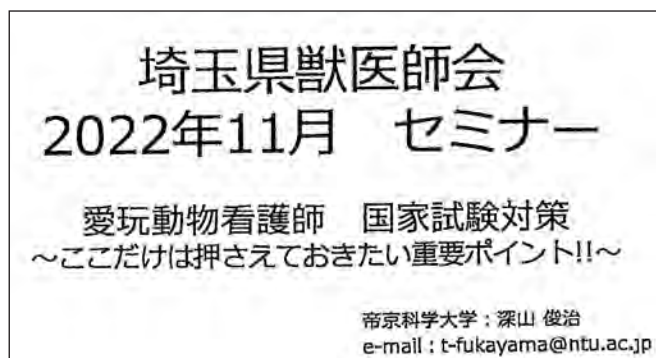
公益社団法人埼玉県獣医師会 会長 高橋 三男

学術委員会 委員長 高橋 一成

情報検討委員会 委員長 宗像俊太郎

令和4年11月6日(日)に愛玩動物看護師国家試験予備試験が実施されました。合格者は令和5年2月19日(日)に開催される愛玩動物看護師国家試験を受験することができます。このため、当会では会員の動物病院のスタッフの方々を応援するため、令和4年11月23日(水・祝)14時から「愛玩動物看護師国家試験対策」をZoomにより開催しました。事前に申し込みをしていただいたA会員の動物病院のスタッフの方を中心に会員の先生方にも受講していただきました。その概要は以下のとおりです。

総合司会のさいたま市支部学術委員の林津陽平先生の進行により、時間どおりに配信を開始しました。講演に先立ち、高橋三男会長が主催者として挨拶をしました。



司会の林津陽平先生

主催者挨拶 公益社団法人埼玉県獣医師会 会長 高橋三男

「みなさん、こんにちは。只今ご紹介いただきました、公益社団法人埼玉県獣医師会会長の高橋三男と申します。日頃から、動物病院で我々獣医師と共に、日夜、犬や猫をはじめとするペットの健康のためにご尽力いただいているスタッフの皆さんですが、いよいよ来年の2月に開催される、愛玩動物看護師の国家試験に向けて準備をされているなか、仕事の合間の貴重な祝日ではありますが、皆さんの努力が報われるよう、お手伝いをさせていただくために、帝京科学大学の深山先生にお願いし、この講習会を企画をさせていただきました。新型コロナウイルスの感染拡大のため、残念ながらオンラインでの



主催者挨拶をする高橋三男会長

講習会となりましたが、160名を超える多くの方に申込みをしていただきました。皆さんの国家資格取得に向けた熱意に深く敬意を表するところであります。

さて、私は公益社団法人日本獣医師会で、全国会長会議の常設議長を仰せつかっており、平成25年からすでに9年間務めております。日本獣医師会を取り巻く諸問題の解決に向け、日本獣医師会と全国に55ある地方獣医師会の橋渡しをさせていただいており、先般9月30日に開催された第2回全国会長会議では、私が議長を務めるため、当会の中村滋副会長が埼玉県獣医師会の代表として、愛玩動物看護師法の成立後に新たな教育を受けている現在の在校生に先駆けて、国家試験を受験する現任者の皆様方が、ぜひとも合格することができるよう、各地方会で後押しをしていただくことを強くお願いし、日本獣医師会には迅速な情報提供などによりバックアップしていただくことを声を大にして訴えさせていただきました。各地方会からは、すでに取り組んでいる事例の発表がされ、未実施の地方会からは是非取り組んでいきたいとの力強い意見がありました。全国の獣医師が皆さんのことを応援しています。皆さんはすでに5年以上現場で経験を積んだベテランです。このような講習会を利用しながら、試験のときに落ち着いて取り組めば怖いものはありません。ぜひとも国家資格を手中にし、動物病院の経営者である獣医師とともになくはない存在として、チーム獣医療にご協力いただく日が参りますことを心からご祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いします。」

続いて、高橋一成学術委員長が講師の先生を紹介し、帝京科学大学アニマルサイエンス学科動物看護福祉コース講師の深山俊治先生に途中で休憩を挟みながら2時間に及ぶ講演をしていただきました。深山先生には講演終了後に、講演中に受講者から寄せられたテキストによる質問に丁寧に回答していただき、予定より20分延長し16時20分に終了しました。深山先生には時間の関係で答えきれなかった質問への回答を後日まとめていただき、受講者にメールで送付させていただきました。

受講の申込みは165名に及び、ほとんどが会員の動物病院のスタッフの方々でしたが、会員である獣医師がご自身で受講したいとの申込みも5名程含まれていました。



講師紹介をする
高橋一成学術委員長



講演をする深山俊治先生



講師を囲んで
左から 中村滋副会長、深山俊治先生、高橋三男会長
高橋一成学術委員長、宗像俊太郎情報検討委員長

司会を担当した林津陽平先生がWebアンケートのフォーマットを作成し、講習会終了後に実施したところ47件の回答がありました。45名が動物病院スタッフで2名は獣医師でした。

セミナーの難易度については83%、時間については59.6%の方にちょうどよいとの評価をいただき、総合的な満足度については、非常にためになった(56.5%)、まあまあためになった(37%)、普通(4.3%)、あまり役立たなかった(2.2%)との結果となり、多くの方に「ためになった」との評価をいただきました。

感想・コメントには、多くの感謝の言葉とともに、「後半時間が足りなかった。」「見逃し配信を希望する。」「ぜひ続けて開催してほしい。」などの意見や要望が寄せられました。

当初、見逃し配信は予定していませんでしたが、受講者からの要望がありましたので、深山先生のご厚意により見逃し配信をさせていただくことになりました。

見逃し配信の視聴方法につきましては当会報の3頁をご覧ください。

広告

人が食べるものと同じだけ安全で
美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド

Dr. CREDO

胃腸と皮膚が気になる

成犬用 総合栄養食

No.1

血流と健康が気になる

中・高齢犬用 総合栄養食

No.2

体重と健康が気になる

成犬用 総合栄養食

No.3

こだわりの国産品。

いつでも新鮮! 小分けパック。

下部尿路に

No.1

体重管理に

No.2

7歳から

No.3

美味しさに
自信

ドクターイデア

Dr. IDEA

愛犬・愛猫のトータルサポートフード

着色料不使用

自然派由来の酸化防止剤



森久保CAメディカル株式会社

神奈川：046-206-5713
三郷：048-948-2112

山梨：055-267-6758
茨城：0296-54-6101

東京：042-564-2381
千葉：043-309-5430

埼玉：04-2968-0881

埼玉県獣医師会学術講習会(南支部担当(Web開催))開催報告

南支部長 宗像俊太郎
 学術委員会委員長 高橋 一成
 学術委員 松尾 英治

12月6日(火)どうぶつの総合病院佐藤雅彦先生をお招きし、肺炎の病態とその対処法をご講演いただきました。つい抗生物質を多用してしまいがちですが、使うべき症例の見分け方、また使用方法、そして非感染性肺疾患の情報などを詳しくご教授いただきました。

質問もあり大盛況で終えることができました。佐藤先生、またご参加いただいた方ありがとうございました。

<参加者> 61名

広告

66年の歴史を持つ動物の総合専門学校

～1956年創業 犬のお店「青山ケネル」から続く歴史～

国際動物専門学校 (東京校)

-  愛玩動物看護学科(3年制)
-  美容・デザイン学科(2年制)
-  自然環境・動物飼育学科(2年制)
-  ドッグスペシャリスト学科(2年制)

大宮国際動物専門学校 (大宮校)

-  愛玩動物看護学科(3年制)
-  美容・デザイン学科(2年制)
-  美容・スモールペット学科(2年制)
-  国際海洋・飼育学科(2年制)
-  ドッグスペシャリスト学科(2年制)



学校法人 シモゾノ学園

国際動物専門学校
大宮国際動物専門学校

動物看護師統一認定資格 2021 年度合格率

両校100%! (全国合格率: 89.86%)
 受験者135名、全員合格!!



求人票の送付、お問い合わせはこちら

求人票は下記HPよりダウンロードできます!

シモゾノ学園HP: <https://www.iac.ac.jp> (両校データは同じです)

【国際動物専門学校】(東京校)

〒154-0011 東京都世田谷区上馬

4-3-2

TEL: 03-5430-4400(就職サポート室)

MAIL: syushoku@iac.ac.jp

【大宮国際動物専門学校】(大宮校)

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町

2-289-2

TEL: 048-648-8400(就職サポート室)

MAIL: omiya-syushoku@iac.ac.jp

※本学園の設置学科変更のため、2023年3月に卒業いたします動物看護系学科は東京校1クラス(約40名)のみとなります。何卒よろしくご願ひ申し上げます。

お知らせ

公益社団法人埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

感 対 第 1201-1 号
令和 4 年 12 月 7 日

埼玉県保健医療部長
山崎 達也
(公印省略)

鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)に係る感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第13条第1項及び第2項の規定による獣医師等による届出について(依頼)

当県の感染症対策の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年10月以降、家さん及び野鳥において鳥インフルエンザ(H5N1)の発生が続いています。これを踏まえ、別添のとおり、厚生労働省健康局結核感染症課から事務連絡がありました。

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号。)第13条第1項(同条第7項において準用する場合を含む。)において、獣医師は、鳥類に属する動物が鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)にかかり、又はかかっている疑いがあると診断したとき、最寄りの保健所長を経由して知事に届出を行うことが義務付けられております。

つきましては、貴会会員に当該届出について御周知くださるようお願いいたします。

※別添省略

地方獣医師会会長 各位

事 務 連 絡
令和 4 年 11 月 29 日

公益社団法人 日本獣医師会
副会長兼専務理事 境 政人

食品衛生法施行規則の一部を改正する省令、食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件及び食品衛生法第13条第3項の規定により人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質の一部を改正する件について

このことについて、令和 4 年 10 月 31 日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐(薬事審査管理班担当)から、別添のとおり通知がありました。

この度の通知は、厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官から首題の件について、令和 4 年 10 月 26 日付けでそれぞれ省令等の改正が公布された旨、通知依頼がありました。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

4日獣発第234号
令和4年11月30日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

令和4年度日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」の 選考結果について

このたび、第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)会期中の令和4年11月12日に開催された令和4年度第2回日本獣医師会獣医学術功績者選考委員会において、下記のとおり令和4年度における日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」の受賞者を決定したのでお知らせします。

記

【令和4年度日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」】

〔産業動物部門〕

豚呼吸器複合病に関連する16種の病原体を検出するマルチプレックス

RT-qPCRの設計と野外応用

五嶋祐介(岩手県県北家畜保健衛生所)、他

〔小動物部門〕

犬尿中コルチゾール／クレアチニン比の基準値の確立とクッシング症候群の診断への応用

永田矩之(北海道大学大学院獣医学研究院附属動物病院)、他

〔公衆衛生部門〕

火山灰土壌を用いた水質浄化技術開発に向けた研究

谷口喬子(宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター)、他

別紙

令和4年度 日本獣医師会獣医学術賞 受賞研究業績・受賞者一覧

【産業動物部門】

〔獣医学術奨励賞〕

ダイレクトPCR法による牛伝染性リンパ腫感染源リスク牛の検出

宮本真智子(北海道十勝家畜保健衛生所)、他

〔獣医学術学会賞〕(産地区-6)

豚呼吸器複合病に関連する16種の病原体を検出するマルチプレックス

RT-qPCRの設計と野外応用

五嶋祐介(岩手県県北家畜保健衛生所)、他

〔獣医学術功労賞〕

牛、豚の生産性向上のための繁殖生理および繁殖障害に関する研究

津曲茂久(元日本大学・教授)

【小動物部門】

〔獣医学術奨励賞〕

重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2感染により呼吸器症状を呈した飼い猫の1例

山田恭嗣(やまだ動物病院・北海道)、他

〔獣医学術学会賞〕(小地区-3)

犬尿中コルチゾール／クレアチニン比の基準値の確立とクッシング症候群の診断への応用

永田矩之(北海道大学大学院獣医学研究院附属動物病院)、他

〔獣医学術功労賞〕

犬フィラリア症の早期診断法および予防薬の開発に関する研究

多川政弘(日本獣医生命科学大学・名誉教授)

【公衆衛生部門】

〔獣医学術奨励賞〕

野生動物でのオーエスキー病ウイルスの異種間伝播

南昌平(山口大学)、他

〔獣医学術学会賞〕(公地区-6)

火山灰土壌を用いた水質浄化技術開発に向けた研究

谷口喬子(宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター)、他

〔獣医学術功労賞〕

滋賀県におけるボツリヌス食中毒予防に関する研究

林賢一(元滋賀県衛生科学センター・所長)

事 務 連 絡

令和4年12月6日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

副会長兼専務理事 境 政人

食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について

このことについて、令和4年11月28日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐(薬事審査管理班担当)から、別添のとおり通知がありました。

この度の通知は、厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官から食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件(令和4年11月22日厚生労働省告示第337号)が公布された旨、通知依頼がありました。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡
令和4年12月6日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
副会長兼専務理事 境 政人

動物用医薬品等取締規則及び動物用医薬品及び医薬品の使用の 規制に関する省令の一部を改正する省令の制定について

このことについて、令和4年11月24日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐(薬事審査管理班担当)から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号)第83条第1項の規定により読み替えて適用される同法第36条の8第1項及び第49条第1項並びに同法第83条の4第1項の規定に基づき、動物用医薬品等取締規則及び動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令(令和4年農林水産省令第65号)が、令和4年11月24日付けで公布され、同日施行されたことについて周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

記

犬のジアルジア症に使用されるメトロニダゾールを有効成分とする製剤の製造販売が承認されることに伴い、これらの製剤を指定医薬品及び要指示医薬品に指定し、併せて使用者が遵守すべき基準を設定する。

※別添省略

4日獣発第245号
令和4年12月12日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令等の一部改正について

このことについて、令和4年12月6日付け4消安第4238号をもって、農林水産省消費・安全局長から、別添のとおり通知がありました。

この度の通知は、飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律(昭和28年法律第35号)第3条第1項に基づき、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林水産省令第35号)により、L-イソロイシンを飼料添加物として新規指定し、飼料添加物の規格・基準(含量や不純物等の規定等)が設定され、令和4年12月6日に施行される旨、周知依頼がありました。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡
令和4年12月12日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
副会長兼専務理事 境 政人

農林水産省鳥インフルエンザ・豚熱・アフリカ豚熱 合同防疫対策本部における農林水産大臣発言について

このことについて、令和4年12月7日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課家畜防疫対策室長から別添のとおり通知がありました。

先般行われた農林水産省鳥インフルエンザ・豚熱・アフリカ豚熱合同防疫対策本部にて、鳥インフルエンザ等の発生防止とまん延防止、アフリカ豚熱等のウイルスを侵入させないための水際対策の徹底等について検討を行い、畜産関係者及び都道府県の行政関係者に向けた大臣メッセージを別紙の通り周知するよう依頼がありました。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

別紙

農林水産省鳥インフルエンザ・豚熱・アフリカ豚熱 合同防疫対策本部 大臣メッセージ

令和4年12月7日

- これより、緊急的に農林水産省鳥インフルエンザ・豚熱・アフリカ豚熱合同防疫対策本部を開催します。今シーズンは、高病原性鳥インフルエンザの発生が史上初となる10月に確認されて以降、現在も発生が継続しており、そして、今後、年末年始や春節を迎え、人の移動の増加が見込まれます。
- こうした中で、まず始めに、農林水産省として、今後とも最大限の緊張感をもって、鳥インフルエンザ等の発生予防とまん延防止、アフリカ豚熱等のウイルスを我が国に侵入させないための水際対策の徹底に取り組んでまいります。
- その上で、本日、私からは、生産者をはじめとした畜産に携わる関係者及び都道府県等の行政関係者の皆様に対しまして、高病原性鳥インフルエンザをはじめとする家畜疾病の発生予防とまん延防止に向けて、危機感を共有するとともに、防疫対策の徹底を図ることが重要であることを改めて呼びかけさせて頂きたいと思います。
- 今シーズン、欧米をはじめ、世界各地で鳥インフルエンザが大流行している中、我が国においても、家きんでの高病原性鳥インフルエンザの発生が、16道県27事例で確認されており、これは昨年、一昨年シーズンを上回るペースとなっています。
- 発生に際しては、都道府県をはじめとする関係者の御尽力により、これまでのところ防疫措置に遅れなどは生じておりませんが、まずは発生させないことが重要であり、発生予防のための取組を、例年以上に強化する必要があります。
- 飼養衛生管理の徹底については、特に都道府県の指導や生産者による自己点検などを通じて、日々

対策いただいているところですが、今シーズンの発生農場における疫学調査では、農場や鶏舎に入るときの長靴の交換といった、基本的な衛生管理が守られず、長靴の交換の実効性が確保されていないような事例も多くありました。

- こうした状況を踏まえ、関係者の皆様には、発生予防のため、基本ともいえる事項、例えば
 - ① 敷地内や鶏舎の周りの消毒の実施。
 - ② 農場に入る場合の専用衣服と長靴への交換、鶏舎に入る場合の専用長靴への交換とともに、交換の前後で使用する長靴等が交わらないようにすること。
 - ③ 手指の消毒の上、長靴を消毒するときは汚れをしっかりと落としてから実施することなどをおこたらないよう行動の徹底をお願いします。
- 農場にいる飼養衛生管理者はもちろんのこと、すべての従業員の皆様や畜産に携わる方一人一人が、自分たちの農場、自分たちの地域は自分たちで守るという心構えをもって取り組んでいただきますようお願いします。
- また、万が一発生した場合には、発生農場のみならず、例えば、発生農場周囲の主要道路やため池周辺等の消毒、ため池の水抜き等の野鳥対策など、周辺地域を含めた地域一体となったまん延防止対策の徹底が重要です。
- 今シーズンは、過去に一度も発生がなかった地域でも発生しており、今後も全国どこでも発生する可能性があります。これまで発生したことがないからと言って、決して油断しないでください。
- ウイルスは目に見えませんが、野鳥でも広く感染しており、環境中のウイルス濃度も非常に高くなっているため、鶏舎の周りは常にあらゆる場所が汚染されているという危機意識をもって、対策に取り組んでください。
- 併せて、消費者の皆様や食品の流通・製造事業者の皆様に対しても、呼びかけさせて頂きたいと思います。毎度申し上げていることですが、内閣府食品安全委員会も、「我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考える」としています。引き続き、国産の鶏肉や卵を安心して食べていただければと思います。
- 更に、冒頭にも申し上げた水際対策についてです。新型コロナウイルスにかかる入国制限も緩和され、今後、年末年始や春節を迎えると、海外からの訪日客のみならず、国内においても人の移動が活発化することになります。
- アフリカ豚熱の発生が東アジアで拡大する中で、これまでも、コロナ禍以前の訪日外国人数にも対応できるよう、家畜防疫官の増員や検疫探知犬の増頭などの水際対策を強化してきましたが、引き続き、関係機関等とも連携し、水際対策に万全を期してまいります。
- 我が国の家畜衛生を取り巻く環境は非常に厳しい状況ですが、農林水産省としては、関係者と危機感を一層共有し、また、現場に寄り添いながら、防疫対策に全力をあげてまいります。

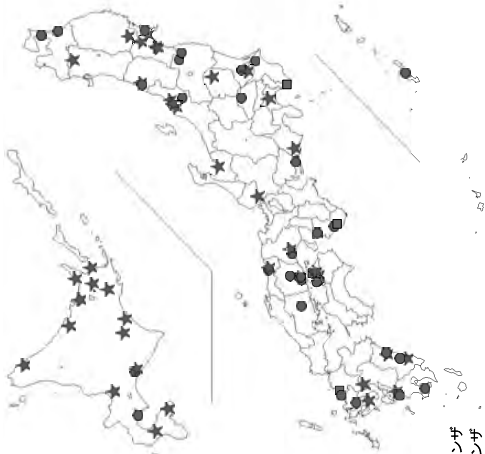
(以上)

令和4年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

(令和4年12月21日時点)

○家さん 21道県45事例

1	岡山県倉敷市	10/28	採卵鶏	約60羽	H5N1
2	北海道厚岸町	10/28	肉用鶏	17万羽	H5N1
3	香川県観音寺市	11/1	採卵鶏	4万羽	H5N1
4	茨城県かすみがうら市	11/4	採卵鶏	104万羽	H5N1
5	岡山県倉敷市	11/4	採卵鶏	51万羽	H5N1
6	北海道厚岸町	11/7	肉用鶏	15万羽	H5N1
7	岡山県倉敷市	11/11	採卵鶏	3.4万羽	H5N1
8	和歌山県白浜町	11/11	あひる等	約60羽	H5N1
9	兵庫県たつの市	11/13	採卵鶏	4.4万羽	H5N1
10	鹿児島県出水市	11/18	肉用鶏	12万羽	H5N1
11	新潟県阿賀町	11/18	肉用鶏	15万羽	H5N1
12	青森県新郷町	11/20	採卵鶏	16万羽	H5N1
13	青森県津軽町	11/20	肉用鶏	122万羽	H5N1
14	香川県観音寺市	11/22	肉用鶏	1.4万羽	H5N1
15	香川県観音寺市	11/23	採卵鶏	1.4万羽	H5N1
16	宮城県気仙沼市	11/23	肉用鶏	2.1万羽	H5N1
17	鹿児島県出水市	11/24	採卵鶏	7万羽	H5N1
18	千葉県香取市	11/26	あひる(あひかも)	約20羽	H5N1
19	鹿児島県出水市	11/27	採卵鶏	4万羽	H5N1
20	福島県伊達市	11/29	肉用鶏	1.7万羽	H5N1
21	和歌山県和歌山市	11/30	採卵鶏	4.6万羽	H5N1
22	鳥取県鳥取市	12/1	採卵鶏	11万羽	H5N1
23	鹿児島県出水市	12/2	採卵鶏	12万羽	H5N1
24	鹿児島県出水市	12/4	採卵鶏	3.4万羽	H5N1
25	愛知県豊橋市	12/5	採卵鶏	31万羽	H5N1
26	佐賀県武雄市	12/6	採卵鶏	3万羽	H5N1
27	鹿児島県出水市	12/7	採卵鶏	6万羽	H5N1
28	福島県飯舘村	12/7	採卵鶏	10万羽	H5N1
29	山形県鶴岡市	12/8	採卵鶏	2.1万羽	H5N1
30	鹿児島県出水市	12/8	採卵鶏	6.9万羽	H5N1
31	愛知県豊橋市	12/8	あひる(あひかも)	約1000羽	H5N1
32	鹿児島県出水市	12/9	採卵鶏	22万羽	H5N1
33	香川県三豊市	12/11	採卵鶏	8万羽	H5N1
34	鹿児島県出水市	12/11	採卵鶏	2.2万羽	H5N1
35	青森県三沢市	12/15	採卵鶏	13万羽	H5
36	広島県世羅町	12/16	採卵鶏	12万羽	H5N1
37	沖縄県豊後市	12/16	採卵鶏	4.5万羽	H5N1
38	埼玉県深谷市	12/17	採卵鶏	19.4万羽	H5N1
39	鹿児島県九州市	12/18	採卵鶏	3.5万羽	H5
40	鹿児島県出水市	12/19	採卵鶏	5.4万羽	H5N1
41	鹿児島県久根市	12/19	採卵鶏	7万羽	H5
42	広島県世羅町	12/19	採卵鶏	18.1万羽	H5N1
43	岡山県多治町	12/20	あひる(あひかも)	2.3万羽	H5
44	宮崎県日向市	12/21	肉用鶏	5万羽	H5
45	鹿児島県久根市	12/21	肉用鶏	3.7万羽	H5



● 家さん
★ 野鳥
■ 飼養鳥

※ HPAL: 高病原性鳥インフルエンザ
LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ

○野鳥 20道県123事例※詳細は環境省HP参照 <https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird/flu/>

1	神奈川県伊勢原市	9/25	ハヤブサ	HPAL	H5N1
2	宮城県栗原市	10/4	マガ	HPAL	H5N1
3	福井県南越前町	10/11	ハヤブサ	HPAL	H5N1
4	北海道野付郡利根町	10/18	渡渡(ガシラモ)	HPAL	H5N1
5	宮城県栗原市	10/14	マガ	HPAL	H5N1
6	新潟県新潟市	10/16	ハヤブサ	HPAL	H5N1
7	新潟県新潟市	10/21	ノスリ	HPAL	H5
8	北海道札幌市	10/23	渡渡(ガシラモ)	HPAL	H5N1
9	北海道札幌市	10/28	ハヤブサ	HPAL	H5N2
10	鹿児島県出水市	11/1	チセツル	HPAL	H5N1
11	鹿児島県出水市	11/2	チセツル	HPAL	H5N1
12	鹿児島県出水市	11/3	チセツル	HPAL	H5N1
13	鹿児島県出水市	11/4	チセツル	HPAL	H5N1
14	宮城県石巻市	11/2	オオハワチヨウ	HPAL	H5N1
15	鹿児島県出水市	11/5	チセツル	HPAL	H5N1
16	鹿児島県出水市	11/6	チセツル	HPAL	H5N1
17	宮城県仙台市	11/4	オオハワチヨウ	HPAL	H5N1
18	鹿児島県出水市	11/7	チセツル	HPAL	H5N1
19	香川県観音寺市	11/7	ヒトリガモ	HPAL	H5N1
20	宮城県白河町	11/6	マガ	HPAL	H5N1
21	北海道札幌市	11/6	オオセツロガモ	HPAL	H5N1
22	鹿児島県出水市	11/8	チセツル	HPAL	H5N1
23	鹿児島県出水市	11/7	環礁試料(水)	HPAL	H5N1
24	鹿児島県出水市	11/9	チセツル	HPAL	H5N1
25	鹿児島県出水市	11/10	チセツル	HPAL	H5N1
26	鹿児島県出水市	11/11	チセツル	HPAL	H5N1
27	北海道札幌市	11/10	ハヤブサ	HPAL	H5N1
28	鹿児島県出水市	11/12	チセツル	HPAL	H5N1
29	鹿児島県出水市	11/13	チセツル	HPAL	H5N1
30	鹿児島県出水市	11/14	チセツル	HPAL	H5N1
31	鹿児島県出水市	11/14	チセツル	HPAL	H5N1
32	鹿児島県出水市	11/15	チセツル	HPAL	H5N1
33	山形県鶴岡市	11/11	コハワチヨウ	HPAL	H5N1
34	秋田県大館市	11/13	オオハワチヨウ	HPAL	H5N1
35	鹿児島県出水市	11/15	チセツル	HPAL	H5N1
36	鹿児島県出水市	11/16	チセツル	HPAL	H5N1
37	鹿児島県出水市	11/14	環礁試料(水)	HPAL	H5N1
38	香川県高松市	11/15	コウノハ	HPAL	H5N1
39	兵庫県姫路市	11/16	ハヤブサ	HPAL	H5N1
40	鹿児島県出水市	11/17	チセツル	HPAL	H5N1
41	鹿児島県出水市	11/17	チセツル	HPAL	H5N1
42	鹿児島県出水市	11/17	チセツル	HPAL	H5N1
43	岩手県一関市	11/11	オオハワチヨウ	HPAL	H5
44	北海道札幌市	11/17	オオセツロガモ	HPAL	H5N1
45	北海道札幌市	11/17	ハヤブサ	HPAL	H5N1
46	北海道帯広市	11/18	マガ	HPAL	H5N1
47	鹿児島県出水市	11/19	チセツル	HPAL	H5N1
48	鹿児島県出水市	11/19	チセツル	HPAL	H5N1
49	鹿児島県出水市	11/20	チセツル	HPAL	H5N1
50	鹿児島県出水市	11/21	チセツル	HPAL	H5N1
51	鹿児島県出水市	11/21	チセツル	HPAL	H5N1
52	宮城県宮崎町	11/21	環礁試料(水)	HPAL	H5N1
53	北海道札幌市	11/20	チセツル	HPAL	H5N1
54	鹿児島県出水市	11/22	チセツル	HPAL	H5N1
55	鹿児島県出水市	11/22	チセツル	HPAL	H5N1
56	鹿児島県出水市	11/23	チセツル	HPAL	H5N1
57	鹿児島県出水市	11/23	チセツル	HPAL	H5N1
58	鹿児島県出水市	11/21	環礁試料(水)	HPAL	H5N1
59	宮城県仙台市	11/18	ノスリ	HPAL	H5N1
60	北海道札幌市	11/19	オオハワチヨウ	HPAL	H5N1
61	新潟県新潟市	11/20	ハヤブサ	HPAL	H5N1
62	北海道札幌市	11/21	ハヤブサ	HPAL	H5N1
63	鹿児島県出水市	11/24	チセツル	HPAL	H5N1
64	鹿児島県出水市	11/25	チセツル	HPAL	H5N1
65	鹿児島県出水市	11/25	チセツル	HPAL	H5N1
66	鹿児島県出水市	11/26	チセツル	HPAL	H5N1

○飼養鳥 4県5事例

1	香川県高松市	11/7	コハワチヨウ	HPAL	H5N1
2	和歌山県白浜町	11/13	チセツル	HPAL	H5N1
3	和歌山県白浜町	12/4	チセツル	HPAL	H5
4	福島県郡山市	12/7	コハワチヨウ	HPAL	H5N1
5	千葉県船橋市	12/17	コハワチヨウ	HPAL	H5

令和4年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和4年12月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4 月			
5 月			
6 月			
7 月13日(水)		埼玉県獣医師会オンラインセミナー 「獣医再生医療汎用化時代を迎えて」 ひらの動物病院 平野 由夫 先生	
8 月			
9 月4日(日)	令和4年度 関東・東京合同地区獣医師大会(神奈川)獣医学術関東・東京合同地区学会 (藤沢市 レンブラントホテル海老名)		
10月25日(火)		さいたま市支部 「日常の診療で知っておくべき骨折・脱臼 の一次管理」 日本大学 枝村 一弥 先生 【Zoomにて開催】	
11月11日(金) ～13日(日)	第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会、令和4年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (福岡市 ヒルトン福岡シーホーク)		
12月6日(火)		南支部 「肺炎の病態とその対処法～とりあえずの 抗菌薬治療からの脱却～」 どうぶつの総合病院 佐藤 雅彦 先生 【Zoomにて開催】	
令和5年 1月24日(火)	農林支部 令和4年度埼玉県家畜保健衛生 業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
2月1日(水)		西支部 「犬の難治性外耳炎」 東京農工大学付属動物医療センター皮膚科 大隅 尊史 先生 【Zoomにて開催】	
2 月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月1日(水)		北支部 「嘔吐のレントゲン診断」 米国獣医画像診断学専門医 村上 正紘 先生 【Zoomにて開催】	

事 務 局 メ モ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

令和5年

- | | |
|--|---|
| 1月13日 令和4年度集合狂犬病予防注射実施者講習会
(さいたま市 レイボックホール) | 1月29日 東支部新年会
(越谷市 越谷サンシティ) |
| 1月18日 知事と農林水産団体長との賀詞交換会
(さいたま市 知事公館) | 2月26日 第3回関東・東京合同地区獣医師会理事会
(神奈川県藤沢市 藤沢商工会) |
| 1月24日 埼玉県家畜保健衛生業績発表会
(さいたま市 埼玉会館) | 12月1日 令和5年度日本獣医師会獣医学術学会年
～3日 次大会(兵庫県神戸市 神戸国際会議場) |

編集後記

大陸の寒気団が南下し日本列島を覆い冬本番となってきました。天気図上、寒気団の南下の様子を眺めていると、遠い昔モンゴル草原を縦横に移動していた遊牧騎馬民族の一団が、黒龍江を渡河南下し朝鮮半島で征服王朝を形成し興亡の後日本列島へ渡来した事と重なるようです。日本語はウラルアルタイ語族に属し、モンゴル語を学んだ司馬遼太郎氏によるとモンゴル語とは兄弟語と言われています。司馬氏によると自然環境の違いから空の青に関する表現が豊かであるモンゴル語と、四方を海に囲まれた我が国は、水の青に関する表現が多様と違いがあるものの、言語の基本構造が同じであると言っていました。最近の日本語の起源に関する国際的な研究でもそのルーツは黒竜江流域であることが明らかなようです。

閑話休題、今年の漢字は『戦』になりました。ロシアによるウクライナ侵略戦争の勃発とそれに伴う食料争奪戦、エネルギー争奪戦、物資不足を原因とする経済戦争等世界各地で様々な領域での戦いが始まりました。この戦いの根本的な原因を辿ってみると、一人一人の人間の限らない欲望の抑制の欠如に行き着くように思われます。ロシアに限りませんが、市民の一人一人の持つ領土欲がその集合体である国家の領土欲となりその欲望を抑制する倫理観が欠乏し、隣接する民族間の優性意識が高揚し、その結果、自民族の貧困や欲求不満が他に転嫁されたとき征服戦争へと移行して行くように思われます。我が国は1945年8月15日以来、平和を希求し国家形成を実践し、そのお蔭で国民は戦争の惨禍を免れてきました。しかし、その平和な間に人々は長寿を願う生存欲、富の蓄積を願う財産欲を限りなく拡大伸長させています。不老長寿という実現不可能と思っていたことも、今やアンチエイジングという遮二無二飛びついてしまふ、人間の欲の浅ましさを感じてしまいます。

生命科学を学ぶ我々は、遺伝子の連続性、永続性を認識し、個体の生命の有限性をも同時に認識しています。獣医学や獣医療は限りある生命の時間を最大限有意義に経過するためのサポート役と思われます。豚熱では20万頭を超える豚が役目を果たせずに頓死しています。今年も一農場で100万羽を超える鶏が鳥インフルエンザで役目を果たせずにその生命を終えています。鶏の所有者である我が国の農民の財産を獣医師は守ることができていません。家畜伝染病予防法の規定であるからというのは、獣医師の怠慢の言い訳でしかないと損害を受けた農民は考えるかもしれません。COVID-19では、感染症法上の分類を2類相当からより規制を緩和させようとする動きがあります。医学の進歩を社会制度に反映させようとする医師の意欲や使命感を感じます。COVID-19のワクチンが短期間で実用化した技術は鳥インフルエンザにおいても同様であろうと考えられます。養鶏獣医師は123名(鶏病研究会調べ)に過ぎないと言われています。2020年の農業総生産額のなかで畜産は3兆2,372億円、鶏8,167億円、豚6,619億円だそうです。この規模の生産農家の財産を守ることは獣医師にとって極めて重要な使命であり、意義のあることです。養鶏獣医師は獣医師全体の0.34%です。36,000の獣医師が一丸となつてこのことを認識しない限り畜産農家の財産を守ることにはできません。一刻の猶予もなくワクチンを実用化し、養鶏農家が安心して眠りにつくことができるようにしたいものです。

戦争の惨禍に見舞われることのない我が国であればこそ、限りある生命がその使命を十分に果たすことができる環境を醸成する社会ができるような戦いを進めたいものです。新しい年が皆様の活躍によりまして希望の持てる国になりますことを願いつつ本年最後の会報をお届け致します。(初雁)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとその責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228

TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870

TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24

TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243

TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1

TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4

TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>